

2021年3月31日 全7頁

## Indicators Update

# 2021年2月鉱工業生産

### 福島県沖地震による部品供給停滞を受け生産指数は2ヶ月ぶりに低下

経済調査部 エコノミスト 小林 若葉

#### [要約]

- 2021年2月の生産指数は前月比▲2.1%と2ヶ月ぶりに低下し、市場コンセンサス（同▲1.3%）を下回った。2月13日に発生した福島県沖地震などの影響で部品供給が停滞した自動車工業の減産が、全体を押し下げた。業種別に見ると、自動車工業や電気・情報通信機械工業、化学工業（除. 無機・有機化学工業・医薬品）などが低下を主導した。
- 先行きの生産は、3月は減産となったのち、4月以降は緩やかな回復に転じよう。製造工業生産予測調査によると、2021年3月は前月比▲1.9%（計画のバイアスを補正した試算値（最頻値）は同▲1.4%）と見込まれている。業種別では生産用機械工業、汎用・業務用機械工業、電気・情報通信機械工業などで低下が見込まれている。他方、4月の見通しは同+9.3%と、全ての業種が増産見込みとなっている。新型コロナウイルスワクチンの世界的な普及により、消費需要や投資需要が活発化するとみられ、増産に結び付こう。ただし、3月19日に発生したルネサスエレクトロニクス生産子会社の工場火災により車載半導体の供給不足が自動車生産の制約になるとみられるが、同調査にはこの影響は織り込まれていないことには注意が必要だ。
- 4月7日公表予定の2月分の景気動向指数は先行CIが前月差+1.1ptの99.6、一致CIは同▲1.3ptの89.0と予想する。この予測値に基づく、一致CIによる基調判断は「上方への局面変化」に据え置かれる。

**図表1：鉱工業指数の概況（季節調整済み前月比、%）**

	2020年						2021年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
鉱工業生産	+8.7	+1.0	+3.9	+4.0	▲0.5	▲1.0	+4.3	▲2.1		
コンセンサス								▲1.3		
DIR予想								▲0.8		
生産予測調査 補正值(最頻値)									▲1.9	+9.3
									▲1.4	
出荷	+6.6	+1.5	+3.9	+4.9	▲1.2	▲1.1	+3.2	▲1.5		
在庫	▲1.5	▲1.3	▲0.5	▲1.8	▲1.5	+1.1	+0.0	▲1.0		
在庫率	▲8.9	▲2.0	▲4.4	▲3.3	▲2.2	+2.0	▲5.7	+1.0		

(注) コンセンサスはBloomberg。

(出所) Bloomberg、経済産業省統計より大和総研作成

## 【生産】福島県沖地震等を受けた部品供給停滞に伴う自動車工業の減産が全体を押し下げる

2021年2月の生産指数は前月比▲2.1%と低下し、市場コンセンサス（同▲1.3%）を下回った。2月13日に発生した福島県沖地震などの影響で部品供給が停滞した自動車工業の減産が、全体を押し下げた。2020年11月以降、自動車販売の一服や半導体供給不足による自動車工業の生産停滞などで全体の生産指数は足踏み状態にある。

生産指数を業種別に見ると、15業種中11業種が前月から低下、3業種が上昇、1業種が横ばいとなった。自動車工業（前月比▲8.8%）や電気・情報通信機械工業（同▲2.9%）、化学工業（除. 無機・有機化学工業・医薬品）（同▲5.7%）などが低下した。自動車工業では、普通乗用車、自動車用エンジン等の品目で低下した。電気・情報通信機械工業では基地局通信装置やセラミック形エアコン、一般用タービン発電機等が低下した。同業種は前月に大幅上昇したため、当月の生産では反動減があったとみられる。化学工業（除. 無機・有機化学工業・医薬品）では合成洗剤や仕上用化粧品等が低下要因となった。同業種の生産指数は2020年春以降、化粧品のインバウンド需要消失により底這いで推移している。

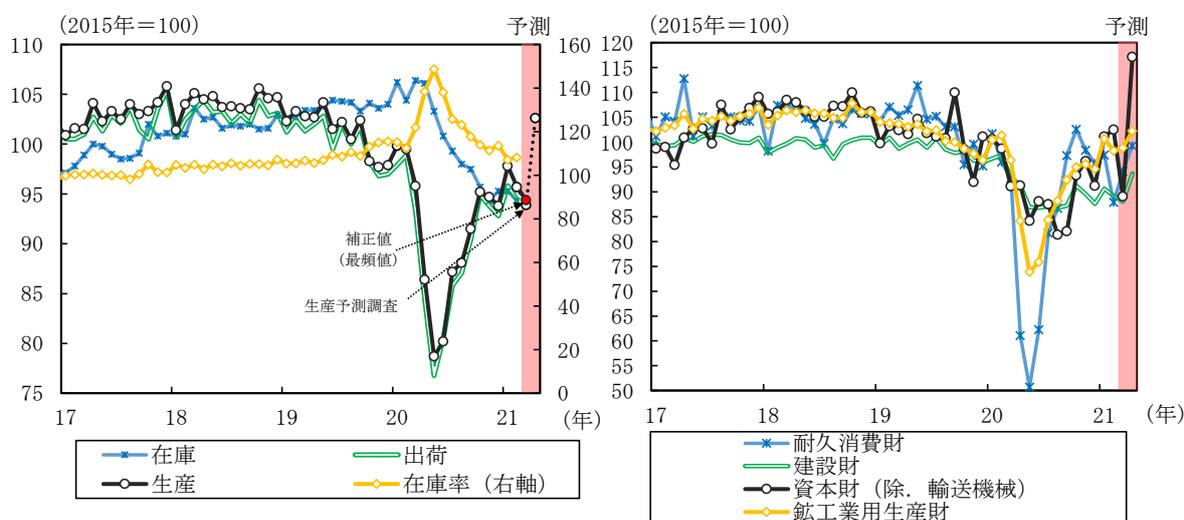
財別では、資本財（除. 輸送機械）（前月比+1.4%）が上昇した一方、建設財（同▲1.5%）、消費財（同▲4.9%）、生産財（同▲2.3%）は低下した。

## 【出荷・在庫】耐久消費財が出荷指数の低下を主導

2月の出荷指数は前月比▲1.5%と2ヶ月ぶりに低下した。業種別に見ると、自動車工業、電気・情報通信機械工業などを中心に15業種中12業種で低下した。財別に見ると、とりわけ耐久消費財や鉱工業用生産財が全体を押し下げた。他方、国内外の設備投資の回復を受け、資本財（除. 輸送機械）は堅調な回復が続いている。

在庫指数は前月比▲1.0%と3ヶ月ぶりに低下した。また、出荷指数よりも在庫指数の低下率が小幅であったことで、在庫率指数は同+1.0%と2ヶ月ぶりに上昇した。

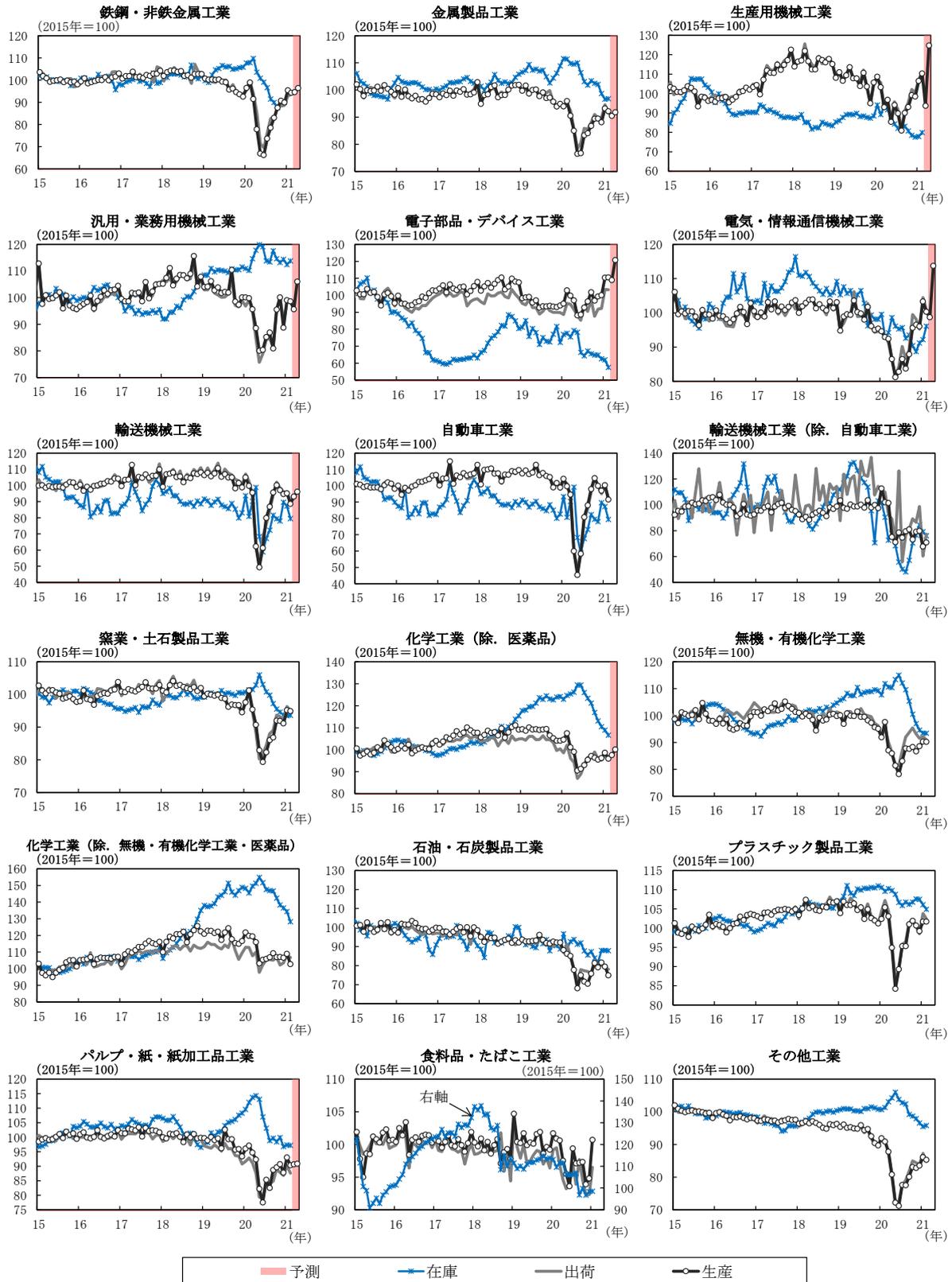
図表2：鉱工業の生産・出荷・在庫（左）と財別の生産（右）



(注) 生産指数の予測値（赤色）は、製造工業生産予測指数の補正值（最頻値）。そのほかシャドウ部分の値は、製造工業生産予測調査による。

(出所) 内閣府、経済産業省統計より大和総研作成

図表3：業種別 生産・出荷・在庫の推移



(注1) 生産指数の予測値は、製造工業生産予測調査。化学工業（除.医薬品）の予測値は、化学工業全体の予測数値を使用。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

## 【トピック】ルネサスエレクトロニクス工場火災を受けた自動車の減産の影響

3月19日に発生したルネサスエレクトロニクス生産子会社の那珂工場での火災の影響により、車載半導体の供給不足の深刻化が懸念されている。同社は自動車の走行を制御するマイコンで世界の約2割のシェアを持つ。火災発生から1ヶ月以内に生産を再開することを目指しており、4月末までに必要となる製造装置の調達を完了した場合、火災発生から100日前後（6月末頃）で出荷量が火災前と同水準に回復する見込みだという。

日本経済新聞社によると、自動車各社が確保する半導体の在庫は最大で3ヶ月分だが、メーカーや車種によっては1ヶ月分ほどしかないケースもあるという<sup>1</sup>。トヨタ自動車や日産自動車は一部車種の減産の検討に入ったと報じられており、4-6月にかけて鉱工業生産の下押し圧力になるとみられる。

## 【先行き】3月に減産ののち、4月以降は緩やかな回復に転じる

先行きの生産は、3月は減産となったのち、4月以降は緩やかな回復に転じよう。製造工業生産予測調査によると、2021年3月は前月比▲1.9%（計画のバイアスを補正した試算値（最頻値）は同▲1.4%）と見込まれている。業種別ではこれまで堅調に推移してきた生産用機械工業や、汎用・業務用機械工業、電気・情報通信機械工業などで低下が見込まれている。他方、4月の見通しは同+9.3%と大幅な上昇が見込まれている。全ての業種が増産見込みとなっており、とりわけ生産用機械工業、電気・情報通信機械工業、汎用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業の上昇寄与度が大きい。新型コロナウイルスワクチンの世界的な普及による消費需要や投資需要の活発化が幅広い業種の増産に結びつくほか、世界的な半導体不足の影響を受け、半導体や半導体製造装置の生産が引き続き増加するだろう。一方、車載半導体の供給不足が生産の制約となるとみられる自動車工業は、製造工業生産予測調査では3月、4月ともに増産見込みであるが、上述のルネサスエレクトロニクス生産子会社の工場火災の影響は織り込まれていない。そのため、特に4月は同調査より弱い結果となる可能性がある。

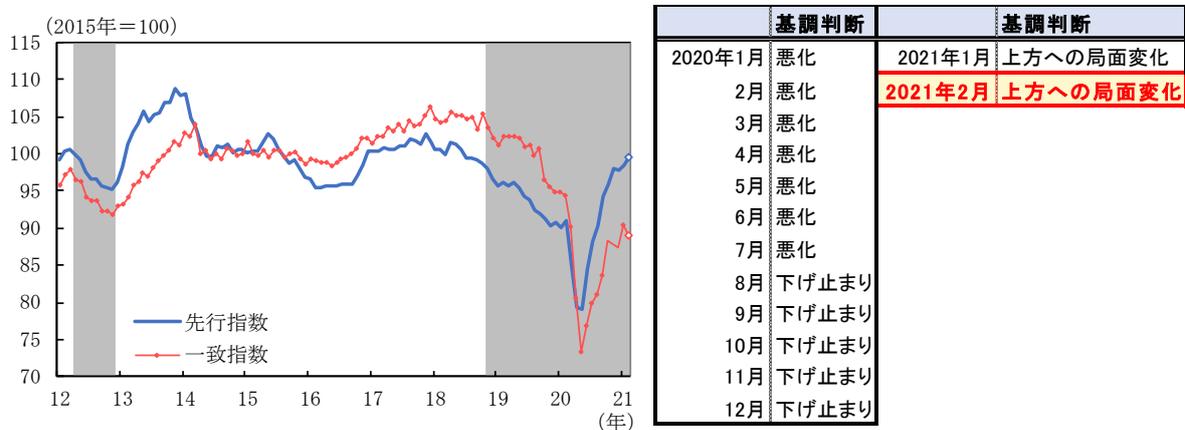
<sup>1</sup> [日本経済新聞電子版「ルネサス出荷停止、影響拡大 トヨタや日産は減産検討」](#)（2021年3月31日）

## 【2月景気動向指数】一致指数は低下し基調判断は「上方への局面変化」に据え置きか

鉱工業指数の結果を受け、4月7日公表予定の2月分の景気動向指数は先行CIが前月差+1.1ptの99.6、一致CIは同▲1.3ptの89.0と予想する（図表4）。先行指数では構成指標のうち、東証株価指数や日経商品指数（42種総合）などが改善した。他方、一致CIでは構成指標のうち、耐久消費財出荷指数、輸出数量指数などが悪化した。この予測値に基づく、一致CIによる基調判断は「上方への局面変化」に据え置かれる。

当面の景気は緊急事態宣言の解除を受けて個人消費を中心に回復する見込みである。ただし、回復ペースは鈍いものとなろう。2月の一致CIは前年同月比▲6%程度となる見込みであり、一致CIの水準が感染拡大前まで戻るのは夏頃にずれ込む可能性がある。

図表4：景気動向指数（先行CI、一致CI）と基調判断の推移

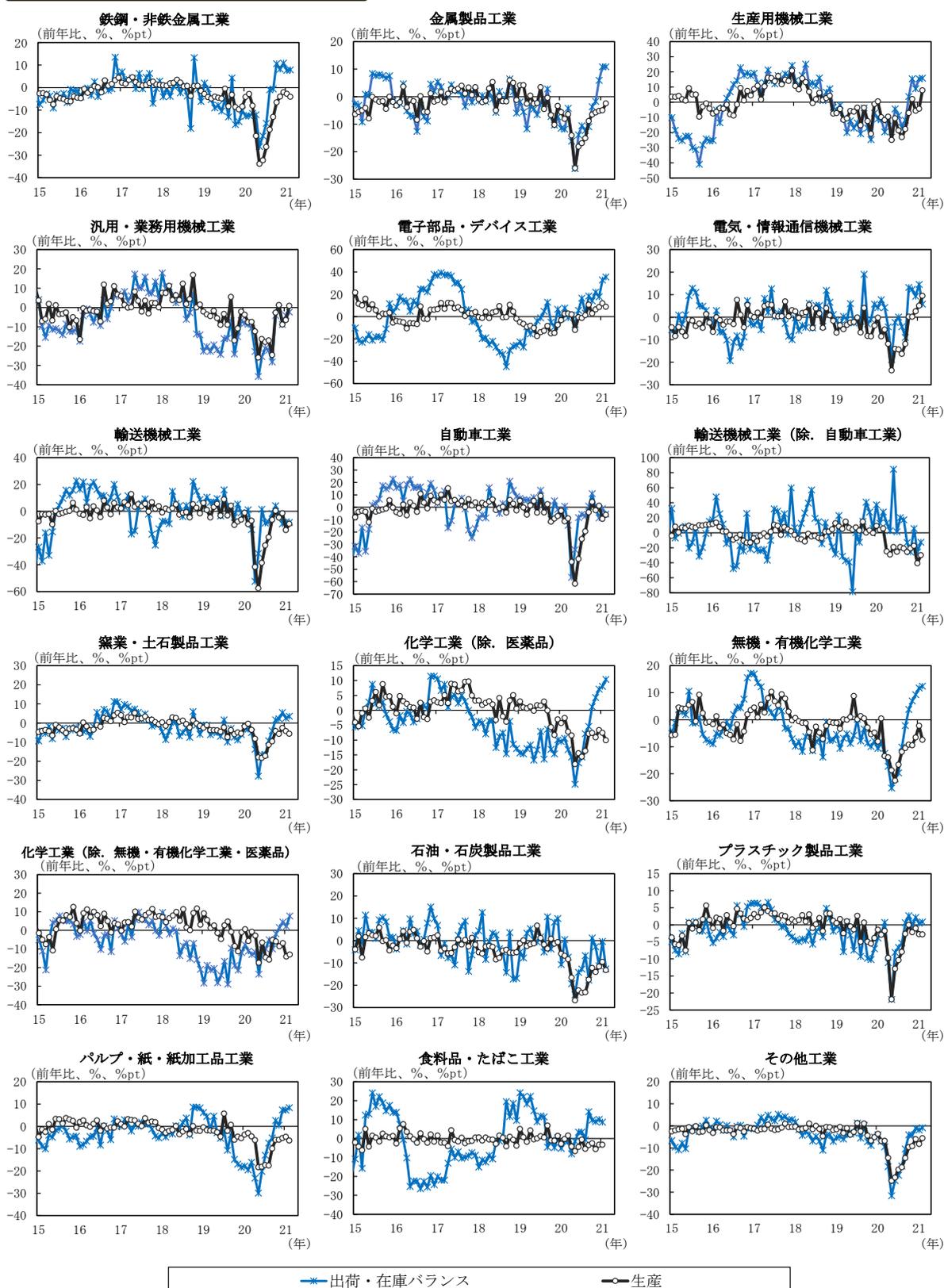


（注1）左図の直近は大和総研による予測値。右図の2021年2月の基調判断は大和総研予想。

（注2）シャドーは景気後退期。直近の景気後退期は暫定。

（出所）内閣府統計より大和総研作成

## 業種別 出荷・在庫バランスと生産



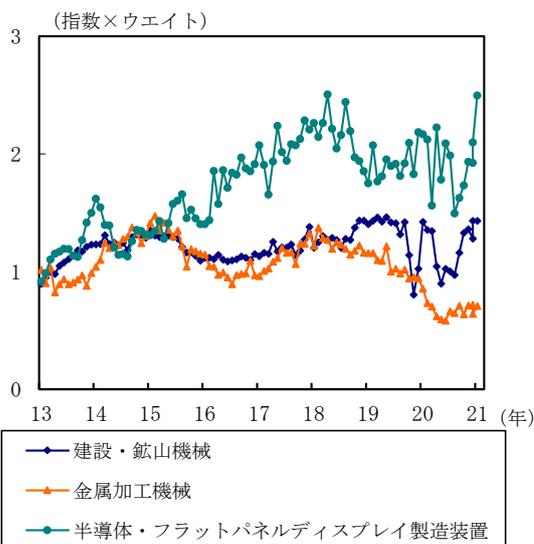
(注1) 出荷・在庫バランス＝出荷前年比－在庫前年比。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

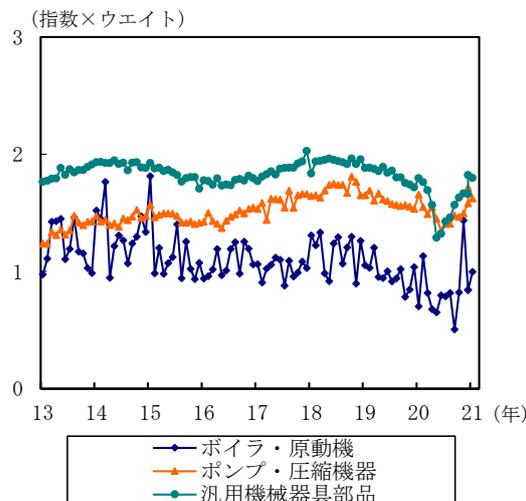
(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

## 主要産業の生産動向(季節調整値)

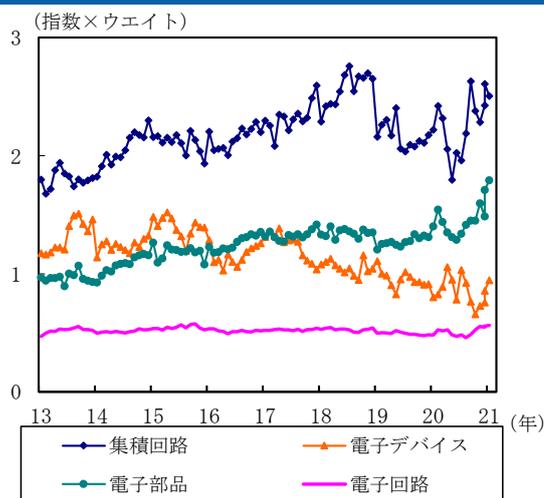
### 生産用機械



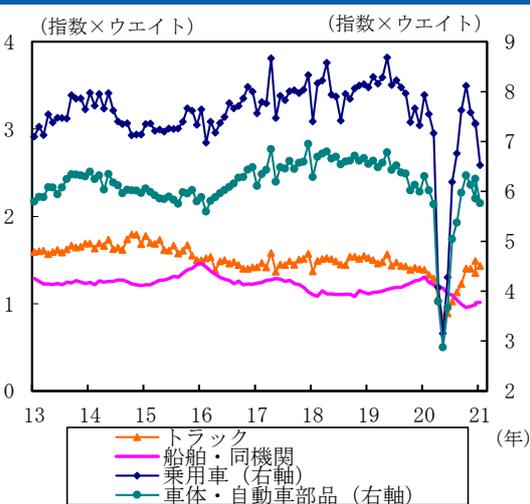
### 汎用・業務用機械



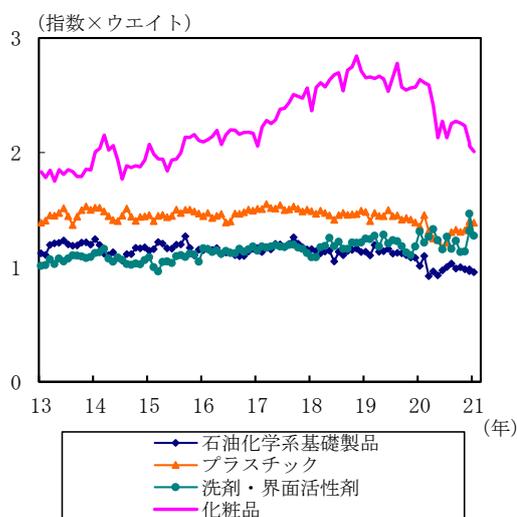
### 電子部品・デバイス



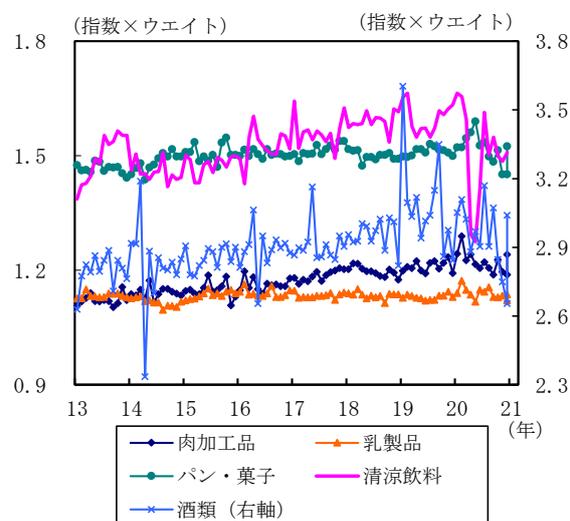
### 輸送機械



### 化学



### 食料品・たばこ工業



(注) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため、直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成